

パンどろぼう

大人気絵本シリーズ初の人形劇化!

原作/柴田ケイコ(KADOKAWA刊)

脚色・演出/東口次登 人形美術/松原康弘
舞台美術/西島加寿子 音楽/茨木新平 制作/茨木新平

ものがたり

まちのパンやから
サササッとびだす ひとつのかげ。
パンをかついで にげていきます。

「おれはパンどろぼう。

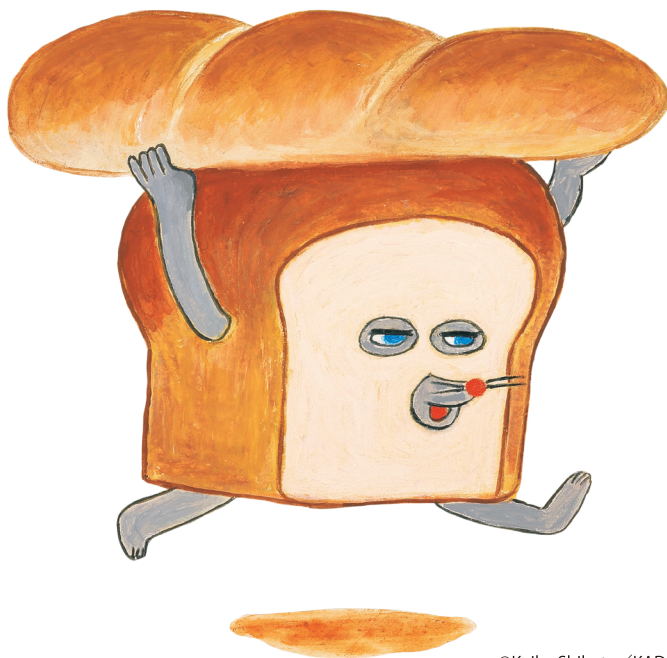
おいしいパンをさがしもとめる

おどろぼうさ」

パンに包まれた、その正体とは—!?

お茶目で憎めないパンどろぼうが、

今日も事件をまきおこす!



©Keiko Shibata/KADOKAWA

上演にあたって

本作は、自己中心的に生きてきたパンどろぼうが他者と出会い自分を振り返り客観的に世界を認識していく、幼児期に最も大切な成長の過程を描いたドラマです。自分が本当に好きなものは盗むのではなく、自分の手で生み出すこと、みんなとともに生み出すことの方がはるかに幸福をもたらし、より生きる力を育むと考え企画しました。幅広い年齢層に人気の絵本を原作に、観客の子どもたちがユーモアと迫力溢れる舞台に入り込み、登場人物に自らを投影させ、自分を振り返り心揺らして観劇することで、観劇後の幸福感につながって欲しいと願います。